

東北大学病院 事業継続計画（BCP）勉強会に参加しました（2016/3/30）

テーマ：事業継続計画、図上訓練

場所：東北大学病院（宮城県仙台市青葉区）

2016年3月30日(水)午後、東北大学病院において、同病院における事業継続計画（BCP）勉強会が開催され、当研究所の江川新一教授（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野、同病院医師兼務）及び佐々木宏之助教（同分野、同病院災害対応担当兼務）が企画立案と当日の進行を担当し、丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）が講演と図上討論の講師を行い、寅屋敷哲也助教（同分野）も支援者として参加しました。当日は、病院長をはじめ病院幹部、災害対応担当ら約30名が参加しました。

この勉強会では、まず、江川教授が開会挨拶と勉強会の趣旨を説明し、丸谷教授がBCPの基礎知識、病院のBCPの特徴等について講義を行い、佐々木助教も病院BCPに関する文部科学省の報告書や新聞記事の説明を行いました。続いて、丸谷教授のコーディネートにより、東北大学病院の施設が大きな被害を受けて使用不能となり、全患者の移送または避難が必要になるという仮定の下、病院長以下参加者全員で、同病院構内図、周辺、広域的な病院の立地を示す地図を用いて図上討論を行い、どのように患者の移送・避難させるか、何が制約要因になるか等について、東日本大震災時の対応経験も踏まえつつ、議論を行いました。この討論の中で、病院スタッフ以外の一定範囲の周辺支援人員の活用の可能性、地元行政、警察、自衛隊、運輸事業者等との連携の重要性、ガソリン等の資源確保の必要性などが認識されるとともに、今後の同病院のBCPの充実方法や方向性も話し合われました。



開会挨拶（江川新一教授）



BCPの基礎知識等の講義（丸谷浩明教授）



病院BCPの現状の説明（佐々木宏之助教）



図上討論の様子